

Blue Prism 実践コース 学習概要

1 プロセステンプレート・オブジェクトのベストプラクティス

Blue Prism公式プロセステンプレートを用いて、処理の流れ・各処理の目的について理解し、またベストプラクティスの活用と、トラブルシュートができることを目標とします。

- ・プロセステンプレートとは
- ・Blue Prismの推奨するプロセステンプレート
- ・オブジェクトのベストプラクティス

2 ワークキューの理解

業務をロボット化するうえで、ワークキューの概要と活用することのメリット、その活用方法を理解することを目標とします。

- ・ワークキューとは
- ・キューアイテムとは
- ・ワークキューのメリット
- ・ワークキューの設定
- ・ワークキューの使い方
- ・ワークキュー追加単位の実装例

3 例外のハンドリングの理解

例外ステージ、復元ステージ、再開ステージの必要性と、適切な設定箇所についての理解ができることを目標とします。

- ・例外処理とは
- ・例外処理の基礎
- ・例外処理の実装

4 製造ライフサイクル

Blue Prismの考え方であるROM(ロボット運用モデル)に基づいた、ロボット開発工程について理解すること。また演習業務内容を整理し、RPA化に適した業務手順を用いて実装するまでの流れを理解することを目標とします。

- ・ROMアーキテクトとは
- ・ソリューション設計
- ・業務のRPA化要件定義
- ・ロボットの設計
- ・ロボットの開発